

CONTENTS

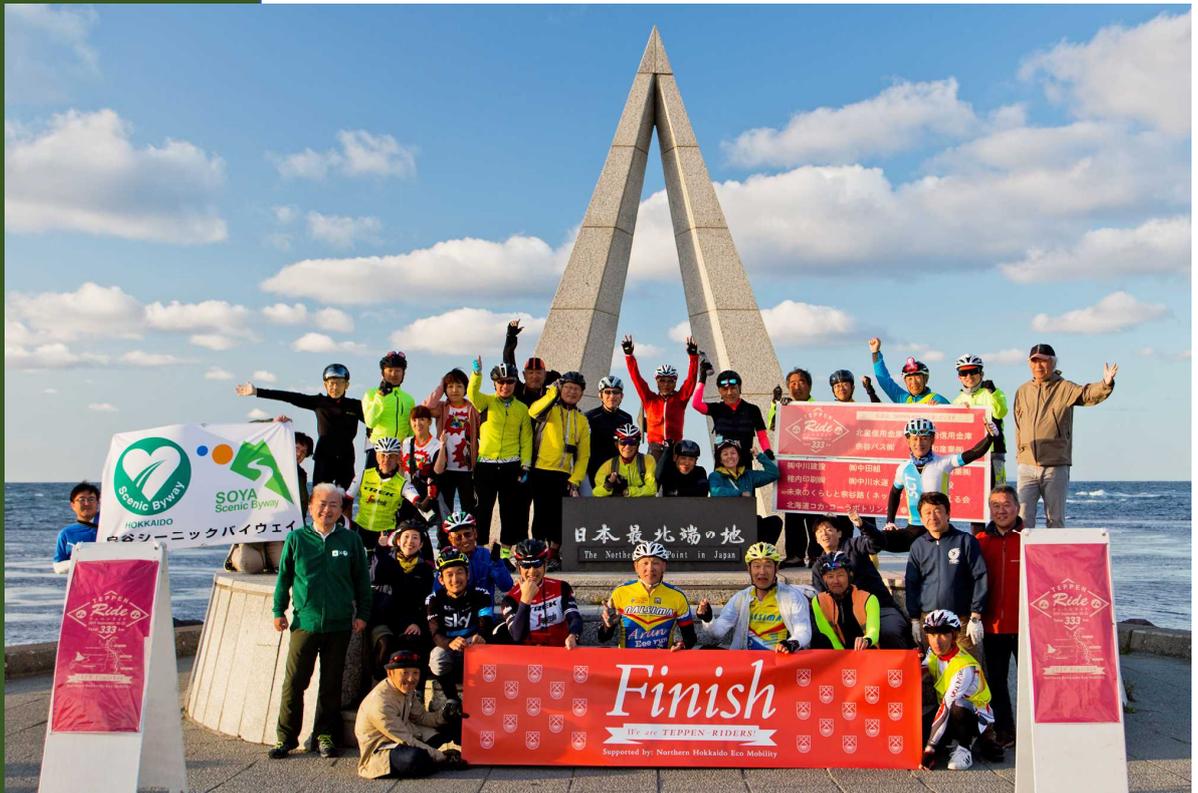
▼オピニオン

- ・互いに「気づく」コンテスト：青木優介
- ・地域住民の土木リテラシー向上へのアプローチ：長谷川雄基

CNCP通信

VOL.89／2021.9.5

■今月の土木■



●てっぺんライド（宗谷岬のゴール風景）

▼コラム

- ・わかり易い土木16（河川）「かわまちづくり」支援制度：内藤正彦

▼フレンズコーナー

- ・“まち”と“地域”の衰退は、風景に現れる：原文宏

▼メッセージ

- ・プラットフォーム上のプロジェクト支援（案）：田中努

▼事務局通信

■シーニックバイウェイ北海道

（Scenic Byway Hokkaido）

・北海道では、“みち”をきっかけとして、**地域の方々が**主役となって、行政や企業などと連携しながら、**広域的に**「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」に取り組んで、**愛着と誇りの持てる地域**の実現を目指す「シーニックバイウェイ北海道」が2005年にスタートし、北海道各地で多様な活動が継続的に展開されています。

・“Scenic Byway”とは、風景の良い（Scenic）、わき道・寄り道（Byway）を組み合わせた造語です。シーニックバイウェイは、北海道で先駆的にはじまり、現在は「日本風景街道（Scenic Byway Japan）」として全国に広がっています。（原文宏）

▼フレンズコーナーに続く。



●今月のフレンズは、
土木学会インフラパートナー団体の仲間です。



インフラパートナー
JSCE 土木学会